



# 小林鷹之こばやし たか ゆきからの手紙

Vol.65

衆議院議員  
小林鷹之  
国政報告

## 討議資料

自民党千葉二区支部  
小林鷹之事務所発行  
(千葉市花見川区・八千代市)

週末は街頭演説

HP



kobayashi-takayuki.jp

「世界の中の日本」  
ワシントンDCから見た景色

自民党の政治資金不記載問題について、地元の皆様をはじめ多くの方々から厳しいご意見やご心配を頂いております。党所属国会議員の一人としてお詫び申し上げます。

昨年11月から半年以上の間、政治資金規正法改正を含む政治改革や自民党改革について議論を行う中で、国民の皆様の十分なご理解が得られているとは到底言えない状況だと受け止めています。自民党の問題が政治全体に対する不信や諦めに繋がっていること、そして政治への更なる無関心を招いていることに自民党として深く反省しなければならぬと思います。

「信なくば立たず」。紛争が生じ、国際情勢が不安定さを増すと共に、経済力、技術力、情報力のダイナミックな動きを通じた国家間の競争が激化する中で、永田町内の問題に日本政治が囚われていることに焦燥感を覚えます。このままだと国が漂流する。日本のために何をすべきなのか。同世代の仲間たちと真剣に考えた上で、政治を芯から活性化するために行動していきます。

## 国会活動



憲法審査会幹事として



日・グローバルサウス連携本部長として



党・三重県政治大学院で講演

セミナー等の講演



同僚議員の地元での講演



## 国政報告会や地元行事も活発に。



地元の国政報告会



習志野駐屯地73周年記念式典



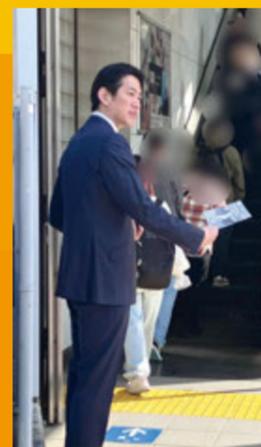
友人が点てた茶を戴く。  
茶杓の銘は「門出」



地元神社のハツカビシャ  
(農耕儀礼の行事)



地元の小学生の皆さんが国会見学に来てくれました。



国会中もできる限り朝の駅頭。週末は街頭演説。



## 後援会に入会しませんか

会費無料

- 各種行事のご案内
  - ファックスマガジン、メールマガジンを配信
- お申込み、お問い合わせは、電話(地元事務所)、メールまたはホームページからお願いします。  
(既に後援会会員の方でメールアドレスを未登録の方は、地元事務所までご連絡下さい)

〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階  
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室  
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

Mail [info@kobayashi-takayuki.jp](mailto:info@kobayashi-takayuki.jp)

Twitter [twitter.com/kobahawk](https://twitter.com/kobahawk)

facebook [www.facebook.com/hawk.kobayashi](https://www.facebook.com/hawk.kobayashi)

HP [kobayashi-takayuki.jp](http://kobayashi-takayuki.jp)

衆議院議員

## 小林鷹之(こばやし たかゆき) Profile

選挙区：千葉県第二選挙区(千葉市花見川区、八千代市)

### 現役職

衆議院  
憲法審査会 幹事  
経済産業委員会 理事  
東日本大震災復興特別委員会 理事  
国土交通委員会 委員

### 自由民主党

党組織運動本部 副本部長  
科学技術・イノベーション戦略調査会 顧問  
知的財産戦略調査会 会長  
日・グローバルサウス連携本部長  
インフラシステム輸出総合戦略特別委員会 基幹インフラ輸出小委員会 委員長  
経済安全保障推進本部 幹事長  
宇宙・海洋開発特別委員会 事務局長 等

### 元役職

経済安全保障担当大臣  
内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙・経済安全保障)  
防衛大臣政務官

### 略歴

1999年(平成11年) 東京大学法学部卒業  
大蔵省入省  
2003年(平成15年) ハーバード大学ケネディ行政大学院修了(MPP:公共政策学修士)  
2005年(平成17年) 財務省理財局総務課課長補佐  
2007年(平成19年) 在アメリカ合衆国日本国大使館書記官  
2012年(平成24年) 第46回衆議院議員総選挙 初当選(現在4期)  
2016年(平成28年) 第3次安倍第2次改造内閣 防衛大臣政務官  
2021年(令和3年) 岸田内閣、第2次岸田内閣  
経済安全保障担当大臣  
内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙・経済安全保障)



米国シンクタンクと



ハガティ元駐日  
米国大使と



米国企業の方々と

国会活動



国交委員会でサイバー  
セキュリティ対策に  
ついて質疑



経産委員会でエネルギーについて質疑



次世代エネルギーであるフュージョン  
PTを立ち上げ



党・知的財産戦略調査会長  
として



党・基幹インフラ輸出小委員長として

新湾岸道路



千葉県と新湾岸道路の  
要望



訪米で思う

今年のGWは、3年連続で米国ワシントンDCを訪問。米国以外の選択肢もありましたが、同盟国の連邦議員、政府高官、有識者と定期的に対面し、議論することにより、日本外交の「かじ取り」を誤らないように等身大の同盟国を把握すること、そして、個人的な信頼関係を築くことができる、そのことが、日本の国益につながるという強い思いで訪米しました。

滞在4日間で30件を優に超える面会を詰め込みましたが、一つひとつの面会の内容が濃く、充実した訪問となりました(忙しすぎて時差ボケになりませんでした)。

今回の訪米テーマは「統合安全保障」。日米首脳会談の共同声明に盛り込まれた「より効果的な日米同盟の指揮・統制」や「台湾有事のシナリオ」といった安全保障、半導体に関する様々な課題や重要鉱物のサプライチェーン(供給網)強化など経済安全保障の他、経済、外交、科学技術などの複眼的視点から日米関係や多国間連携のあり方について議論を深めました。

また、大統領選や社会問題にも話が及びました。今回の訪米において、「米国民・世論」は、拮抗が予想される大統領選を前に争点化する「移民政策」、「人工妊娠中絶の権利」、「ガザ・イスラエル紛争への政府対応をめぐる若者等の抗議活動」、そして「トランプ前大統領の訴訟」などに関心が集まっており、社会問題に揺れる米国の肌を感じました。

一方、「議会・政府関係者」からは、法の支配による国際秩序の擁護・発展に対する米国の

した。内容は、皇位継承と皇族数の確保の2点です。

○皇位継承  
皇位継承というわが国の国柄、国家の根幹に関わる極めて重要な事柄については制度的な安定性の確保に万全を期すこと、そして次世代の皇位継承者がいらつしやる中で、皇位継承の仕組みを大きく変更することは慎重の上にも慎重であることが求められます。したがって、秋篠宮皇嗣殿下、悠仁親王殿下という皇位継承の流れをゆるがせにしない必要はないとした上で、悠仁親王殿下以降の皇位継承については、今後の経過を踏まえつつ、静謐な環境の中で議論を進めていくべきとしました。

○皇族数の確保  
皇室をめぐる諸制度が複数の皇族を前提としていること、皇族方の役割が広範になっていること等の理由により、皇族数の確保は喫緊の課題です。

したがって、まずは皇族数の確保について皇位継承の問題と切り離して方策を講じるべきとしました。その上で、①内親王・女王に婚姻後も皇族の身分を保持して頂くことは皇族数確保のために必要であること、②旧11宮家の皇族男子は、憲法・皇室典範の下で皇位継承資格を有していた方々であり、その子孫である皇統に属する男系の男子を皇族の養子とすることは、皇族数確保、安定的皇位継承のための必要な方策であることとしました。前記①②によって皇族数が確保できなかった場合には、③皇統に属する男系男子を法律により皇族とすることも皇族数確保の方策として考えられる、としました。

強い意志と、その実現の観点から、日本に対する高い期待、そして韓国やフィリピンを含む他の同盟国との多国間連携に対する期待を感じました。日本や他の同盟国との連携強化を米国が必要とするということは、それだけ国際情勢が不安定化していること、米国の国力が相対的に低下していることの裏返しであると私は捉えています。

わが国自身の国力をさらに高めていかなければならないとの決意を新たにすると共に、国内で過度な期待や誤解を生まないよう、緊密な対話を通じた「期待値コントロール」も大切だと感じました。

安定的な皇位継承の在り方

126代にわたる歴代の天皇と皇統、皇室は、わが国の歴史、伝統、文化の礎です。先人達が連綿と守り続けた国柄を受け継ぎ、責任を持つて次世代に引き渡していくことが今を生きる私たちの使命であると考えます。

その使命を全うするため、昨年11月に自民党内に立ち上げられた「安定的な皇位継承の確保に係る懇談会」にて、党幹部を中心とした10数名の限られたメンバーで静謐な環境の下、議論を深めてきました(私も参加)。4月に党としての所見をまとめ、衆参両院議長に提出いたしま

少にして学べば、即ち壮にして為すことあり。壮にして学べば、即ち老いて衰えず。老いて学べば、即ち死して朽ちず。佐藤一斎が指摘するように、常に謙虚に学び続けてまいります。

令和六年五月吉日

衆議院議員 小林鷹之

谷垣禎二元総裁の回顧録で対談



今年5月29日に谷垣禎一元自民党総裁の回顧録が発売されます。本書の中で、「特別対談」が企画され、大島理森元衆議院議長と私にお声がけ頂きました。私は谷垣元総裁には大変恩義を感じておりますので、大変光栄に思い、謹んでお受け致しました。対談では、野党時代に火中の栗を拾う形で総裁に就任された谷垣元総裁と私との出会いの話や、谷垣さんから私へのご期待・ご激励を頂くと共に、私自身の日本の未来に対する思いや政治への向き合い方について申し上げました。

ご高覧頂けますと幸いです。